

KGA

‘93秋季号
1993年10月1日発行

NO. 44

目次

特集・第44回「関東オープン」

あの日 あの頃 あの思い
—歴代チャンピオンに聞く— 1

平成5年度 第44回関東オープンゴルフ選手権競技 4

“オープン名物” ジュニア・ゴルフ・クリニック 6

がんばれ研修生諸君 8

チャリティの“花”を日本中に咲かせよう 10

ご協力ありがとうございました 14
——チャリティ募金報告——

“だれでも、いつでも、どこでも”
JGAハンディキャップが取得できるようになります 16

平成5年度 第14回関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技 18

理事会・分科委員会 20

月例競技成績表・お知らせ 24

表紙photo/関東オープン・浜野ゴルフクラブ(撮影/片山晴美/KGA広報委員)

関東ゴルフ連盟

あの日 あの頃 あの思い

—関東オープン歴代チャンピオンに聞く—

司会 杉山通敬 (KGA広報委員)
写真 石川博英 (KGA広報委員)



大勢のギャラリー、関係者が見守る中、ナイスショット（石井さん、後列右より林、中村、島津ご夫妻、松浦副理事長、尾関競技委員長、小針さん、浜野の加藤理事長、中井副理事長）

中村寅吉 ('50、'51、'52、'53、'56、'57、'58年優勝)

林 由郎 ('55、'60年優勝)

小針春芳 ('59、'61年優勝)

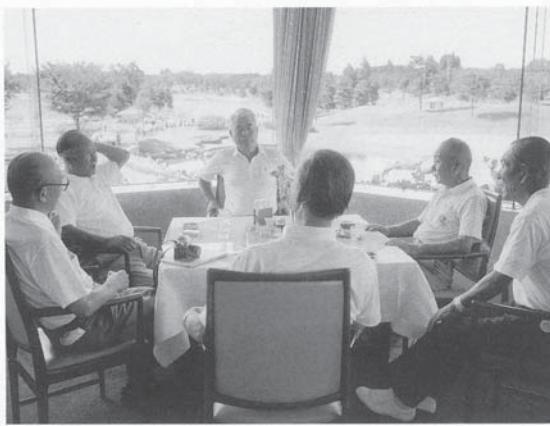
石井朝夫 ('63、'65年優勝)

——「オレたちの関東オープン」というような表題で、皆さんのが活躍なさっていた頃の思い出話を、最近のことと比較しながらして頂きたいのですが、今日、インの9ホールを“名誉スター”としてラウンドされた、その印象からまずお聞かせ下さい。

中村 実に気持ちのよいコースだった。肥料や機械

(グリーンモアなど)の関係もあるんだろうが、わたしらがやっていた頃のコースとはくらべものにならないくらい良かった。今年は雨も多かったし、コース整備などどこも大変だったと思う。だけどこはフェアウェイもグリーンも申し分なかった。こういうコースでプレーできるのは幸せだね。

石井 わたしらがやってた頃は、グリーンは姫コライ、フェアウェイはコーライ、ラフは野芝だった。今日のラフもきついことはきつかったが、野芝にくらべると楽ですよ。野芝は伸びるとススキの穂みたいのものが出て、膝くらい長くなる。キツかったですよ。



4人の思い出話は時に爆笑の渦（右より小針、林、石井、中村の皆さん）

林 それでもなんとかなっていた。バサッと、稲の切株みたいなターフ取ってね。力もあったんでしょうが、やっぱり“切れ”が良かったんででしょうね、スwing。

小針 若い頃はスwingにスピードがあったから、シャープに切れたんでしょう。だけど何と言ってもグリーンですよ。今と昔では雲泥の差です。今が“タタミ”だとすれば、昔は“ムシロ”。そのくらいのちがいがあった。

— 畳と筵ですか。ラインの読み方など、それでは頭がこんがらがっちゃうじゃないですか。

石井 ところが、どうじゃない。芝が不揃いだとえって目印が出来て狙いやすい。あの芝に当たると右へ曲がるなど左へ切れるな、という予測が立つから、そういうことを計算してラインを読む。芝が目印になる。もっとも短いの、それこそ50センチもないパットがやっかいだった。芝目がきついから急激に曲がる。時には低いほうから高いほうへ曲がったりする。その点、今は傾斜だけ見ればラインが読める。だけどこれがかえってやっかいなの。

林 道のないところ、というか霧がかかっている道を車で走るようなもので、どのくらいカーブするか見当がつけにくい。きれいに刈込んであるから目印もつけにくいく。

中村 わたしが初優勝（50年）した時、最後に50センチもないパットが残った。ラインを見ると芝がツ

ンツン立っている。これに当たると外れるじゃないか、あれに当たると逸れるんじゃないのか、と気が気じゃない。だけど最後はニラミ倒した。そしたらカップの中から手が伸びてきて、勝手に引き入れてくれた。そんな感じだったね。

林 わたしが中村さんと裕さん（島村裕正）、廻ちゃん（石井廻夫）と戦後初めてアメリカ遠征したのは1952年、シカゴのタムオシャンタで行われた世界選手権だったけれど、中村さんとふたりで「おい、このグリーンは本当にスパイク履いたまま上っていいんだろうか」と話してたものです。本当にタタミとムシロの違いでしたよ。

ゴルフと“球打ち”は別もの

— 試合に臨む“心構え”はどうでしたか。

石井 わたしたちの頃は試合が少なかったからね。小針 一戦一戦、新たな気持ちで練習しましたよ。開催コースの特徴を考えて。

中村 試合の時もそうだったけど、日頃の心構えがモノを言うんだ。

林 これまで、昔ばなしになるけど昭和23年に関東の代表は中村さんとわたし、関西は宮本留吉さんと戸田藤一郎さんで、東西の対抗試合が宝塚ゴルフ倶楽部で行われた。15番のパー5でセカンドショットしたら空振りですよ。下り坂で少しばかり穴の中にポールが入っていた。当時、わたしはフックばかり打っていたから、そういうライからだとまともに打てない。そしたら戸田さんが「ヨシ、お前の打ち方じゃあ、ああいうライではまともに打てない」って言われた。それで終わってからどうすればいいか訊きました。わたしがどうにか1人前になれたのは、その時の戸田さんのアドバイスのおかげです。

小針 わたしは兵隊（ニューギニア）に行っていた関係で、戦後の復帰は遅かったんですけど、林さんがすっかり巧くなっているんでびっくりした。

林 どうしてそんなに巧くなったの、わたしにも教えてくれって、小針さんに聞かれたのを憶えています。

中村 わたしらはよく人に訊いたね。わたしも相模で鍋島直泰さんからランニングアプローチの打ち方を教わった。ツン、という打ち方が鍋島さんは実に巧かった。

— プロアマの別なく、巧い人から教わった。

中村 そうなんだ。自分より巧い人がいたら、その人が先生なの。そういう心構えていたから誰にでもモノを訊けた。

林 中村さんにバンカーショット教えてくれって言われたことがあった。わたしはこうしてる、と言ったら、その日1日、中村さん、バンカーから出て来なかつた。

石井 わたしもここにいる先輩はもちろんのこと、戸田さんや宮本さんによくモノを訊きました。

中村 聞く耳持ってる者が巧くなったと思うね。

— みなさん、聞いて巧くなつた。

小針 見て、聞いて、試してね。いや、林さんが巧

くなってるのには驚いた。

林 戸田さんの前で“空振り”したおかげで、本当に価値のある“空振り”だった。

中村 心構えということから見ると、今の選手は挨拶をしない。1番のスタートを見ていたんだが、そこに古賀さん（KGA副理事長）や松浦さん（KGA副理事長）がいるのに誰も挨拶しない。よっぽど怒鳴りつけてやろうかと思った。

石井 去年も言ったのだけど、球打ちだけが巧くなってしまダメ。ゴルフが巧くななければ、ひと口に“ゴルフ”と言ってもそこには色々な要素が含まれますからね。

— 全人格が出る。

林 われわれキヤディやりながらゴルフを覚え、貧乏人の姿がこうやって曲がりなりにも一人前の生活が出来るようになった。これ、みんなゴルフのおかげです。

中村 いくら球打ちが巧くなあって、感謝の挨拶がなければ“ゴルフ”は向上しない。そのところを履き違えないでもらいたいね。



往年の名プレーヤーによるエキシビションにギャラリーは大喜び

平成5年度 第44回関東オープンゴルフ選手権競技

●開催コース 浜野ゴルフクラブ 7,151ヤード パー72
 ●開催日 平成5年9月2日(木)~9月5日(日)
 ●参加者 119名(アマ38名、プロ81名)

福沢孝秋“不惑”の勝利

写真・片山晴美(KGA広報委員)



福沢孝秋選手は昭和27年生、昔風に言えば「四十にして惑わず」“不惑”的歳である。たしかに彼にとって平成5年は転機の年であった。

プロになったのは昭和54年、今年で13年目になるが、目立った戦績は残していない。わずかに、平成3年のグローリングツアーで1勝ただけで、シード経験もない。昨年の賞金ランクでも83位である。

その彼が今年は大きく変身した。そのきっかけは全英アジア・日本予選で2位、堂々と本戦出場権を獲得したことであった。そのことを“40歳のシンデレラボーイ”とか、“ひょうたんからコマ”とか、マスコミは書きたてたが、いづれも無名プロが、メジャー、それも全英オープンという夢舞台に立つことになった驚きと、幸運を表現していた。

しかし、福沢はこのチャンスを確実にものにした。「経験と自信」——一人の人間を大きく変身させる

糧はこれをもってない。

関東オープンのプレーぶりは、まさしく“不惑”男の自信に満ちたものであった。

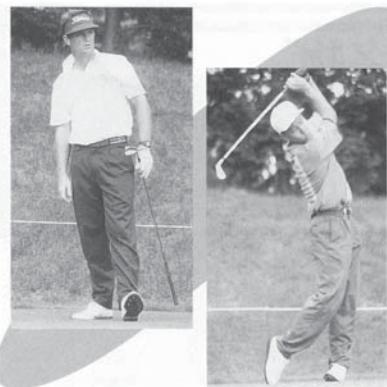
俱楽部と難民にも喜びを分ち与えたい

プレーオフの第1打が明暗をわけた。佐々木選手は左バンカー、福沢のそれは右バンカーをこえ、フェアウェイをキープした。残り200ヤード、2オンを狙ったが、グリーン左のバンカーに入った。一方、佐々木はバンカーから残り150ヤード地点、3打がグリーンをわずかにとらえた。福沢のバンカーショットは、ピンを1.5mオーバー、軽いフック。佐々木のパットはわずかにショート、福沢のパットにギャラリーの視線が集中する。プロにとってはさほど難しいラインとは思えないが、さすがに緊張感がグリーンいっぱいに広がる。

福沢は見事に打ち切った。随行した田村競技委員は語る「プレー前の最終ホールは、あと1.5mでOBのきわどいショットで、パーセーブがやっとだった。それが、プレーではナイス・ドライブ、あ



ベストアマの表彰をうける米倉和良選手



今年は外人選手の参加が10名 中でも話題をよんだのは A・ペインター(オーストラリア)と金柱亨選手(韓国)

平成5年度 第44回関東オープンゴルフ選手権競技成績表

順位	氏名	I R	2 R	3 R	4 R	TOTAL
1	福沢 孝秋	68	69	71	72	280
2	佐々木久行	69	67	77	67	280
3	鈴木 亨	71	68	74	68	281
4	桑原 将一	70	67	74	72	283
5	E エ レ ラ	70	74	73	69	286
5	船野 明	70	73	73	70	286
5	鈴木 由浩	72	68	73	73	286
5	*米倉 和良	73	71	69	73	286
9	芹沢 大介	69	74	73	71	287
9	小林 富士夫	74	70	71	72	287
9	*ギリガン	71	72	72	72	287
12	中山 徹	70	72	74	72	288
12	磯崎 功	75	68	70	75	288
14	松高 史明	75	73	73	69	290
14	*森上 貴夫	74	71	76	69	290
14	*横尾 要	75	70	75	70	290
14	藤本 あきら	73	74	72	71	290
14	K マティース	71	73	74	72	290
14	片山 晋吾	71	69	77	73	290
20	白浜 青男	74	74	71	72	291
20	*金柱亨	70	76	77	68	291
20	須貝 昇	70	72	74	75	291
20	楠本 研	71	75	70	75	291
24	R バックウェル	73	72	78	69	292
24	白石 達哉	73	68	78	73	292
24	稗田 美佐男	71	71	76	74	292
24	合田 洋	72	71	75	74	292
28	柳沢 伸祐	71	71	78	73	293
28	W スミス	72	74	75	72	293
28	高野 勇一	72	71	77	73	293
28	泉川 ピート	74	74	72	73	293
28	植田 浩史	71	72	75	75	293
28	K タニガワ	74	67	76	76	293
34	岡野 雅之	69	73	74	78	294

※はアマチュア

の一打に、福沢の自信、経験、執念、気迫……あらゆるもの凝縮されていた。」

これまで関東オープンの勝利をきっかけに、トッププレーヤーになった選手は枚挙にいとまがない。青木、中島、尾崎、最近では横山、水巻、川岸…、福沢もその仲間入りをした。

クラブハウス内でのパーティーで、福沢は「私にとって、全英オープンの経験が大きかった。また、お世話になっている諏訪湖カントリーの30周年の祝事に(8月30日に式典があったばかりだった)“お祝い”をさし上げることも大変うれしいことであります。そしてこの喜びを難民にも分ち与えたいので、賞金の一部(100万円)を寄付いたします。」と静かに語ってくれた。

“オープン名物” ジュニア・ゴルフ・クリニック

文・山田和臣 (KGA広報委員)

写真・舟橋一芳、石川博英 (KGA広報委員)

今年で2回目ではあるが、「関東オープン ジュニア・ゴルフ・クリニック」は名物イベントとなった。なにしろ、ゴルフ界の大看板“中村寅吉、林由郎、小針春芳、石井朝夫”の4人が、医者として診療所をオープンするのだ。こんな機会はめったにない。定員(55名)の10倍をこえる申込み殺到した。

伝説上の人物やあこがれの人を目の当たりにした時、人は緊張し、口もきけず夢心地になるものだ。まして、極めた技を手取り足取り教えをたまわるとなればもう大変である。その感激は時に人の一生を左右するほどの影響力を持つ……。というのは昔の話である。

今の“さめた”若者にはそんな事はない。まして日集まったジュニア(小中学生52名)にとって、初めのうちは4人とも單なる“ゴルフのうまいおじいちゃん”としか映らなかったに違いない。



紅露ジュニア委員長から“大きな声でいきつしよう”と注意

4人4様、個性 あふれる名医ぶり

さて、4人のクリニックぶりである。なにしろ、強烈な個性の持主であるから、教え方も4人4様、見聞きしてるとまことに面白く興味につきない。

先ず中村寅吉プロ。ジュニアにしてはロングヒッターの子をレッスンして、やおら首筋の右を押え“オッ、けっこうやるじゃないか。でもなあ、振りはここに感じなければいい

彼らにとって、KGAの紅露ジュニア委員長、大鷲副委員長が“4人は大変な名ゴルファーであって、青木も尾崎も中島も、みんな4人に習ったのだよ”と紹介されても大半の子は特別の感慨を持った様には見えなかった。むしろ、背後の親御さんの方に“替えるものなら自分が教わりたい”といった表情がありとうかがわれた。



島津ご夫妻(後列右2人)と尾間JGA女子委員長も興味深げに見学

けねえ。そら、もう一度やってみな”と、独特のペランメイ調。



“腰かけて打つと、当たるようになる”と中村プロ



石井朝夫プロの指導はとても優しい。先ずは体の回転についての基本をじっくりコーチする。そして、クラブを振る楽しさから教えようとしていた。

小針春芳プロは誠実な人柄がそのままあらわれたレッスン。グリップから始まり、クラブの性質、振り方の解説付きである。自分の孫でもここまで普通めんどうみされまい。



“アドレスが基本だよ”と小針プロ

林由郎プロのレッスンはテレビでおなじみの人も多いと思うが、ダフリ、テンプラ、スライス、フ

ック、シャンクに空振り、先ずはひとりおり、全ゴルファーの悩みを実演してみせる。そしてジュニアに2~3発打たせて、たちどころに治療してやる。まさしく、“クリニック”である。それにユーモアたっぷりの解説付きだから、とりかこんだ大人たちも大喜びである。



“ほらまっすぐ飛んだろう”と林プロ

ジュニアは“燕”である

今日の参加52名のジュニアは、10倍の申込者から当選した幸運児たちだ。“ジュニア会員(KGAには約5,000名いる)全員にチャンスを与える”と関係者の誰しが思っている。しかし、ジュニア・ゴルファーの環境は、諸外国に比べて劣悪である。KGA加盟全452俱乐部でこの種の試みがあれば、日本のゴルフ界は大変化、大発展することまちがいない。いずれジュニアは燕のように大人の良きゴルファーとして必ずゴルフ場に戻ってくるのだから、先行投資とも言えるわけだ。子どもたちの間でサッカーの人気か野球のそれを凌駕したのは、底辺を拡大したことである。どのゴルフ場も不景気で入場者が減数している耳にする。ジュニア育成が全てとはいわないが、永い目でみれば有効な対応策の一つであることにまちがいない。

4人の名優の“揃い踏み”は、予定の1時間をはるかにオーバー、2時間になんなんとした熱の入ったものであった。そして“来年はどんな子が来るのか楽しみだ”といううれしい言葉を残して幕を閉じた。

がんばれ 研修生諸君

文 和田憲一 (KGA広報委員会)
写真 石川博英 (KGA広報委員会)

あたりまえのことだが、プロゴルファーになるにはプロテストを受けて合格しなければならない。ところが、このプロテストを受けるまでが大変だ。いろんな道があるが、ごく一般的なのは先ずゴルフ場の「研修生」になることだ。これと仲々大変である。おいそれとはなれない。

そして、念願が叶い研修生となると、所属ゴルフ



マーカーとしてプレイヤーの後をつける



慣れぬギャラリー整理に汗をかく

場の支配人の推薦をもらい、各地区（東日本では20ブロックに分かれている）に研修生として登録することになる。

これを統括するのが東日本ゴルフ場支配人会のプロゴルフ研修部会である。4月～11月に6ラウンドの研修会を行ない、トータル444ストローク以内の者がPGAツアー第1次予選会の出場権を得る。この予選会は第3次まであり、ここまで人数はしばりにしばられるわけだ。お金も大変だ。第1次受験料103,000円、2次154,500円、3次206,000円を要する。

と、くどくど「研修生」について説明したのは、今年の関東オープンには千葉県ゴルフ協会、千葉県ゴルフ場支配人会のご協力で、千葉県南部市原地区と中部西地区の32ゴルフ場の研修生90名に、ボランティアとして、助力をいただいからである。その延べ人数は4日間で227名であった。日当の類は一切なし、交通費も自前でお願いした。円滑な競技運営を図るには、これまで学生アルバイトを動員してきたが、毎年700万円

以上要してきたので、費用の面でももちろん、また、ゴルフをよく知っている諸君なので運営面でも大助かりであった。

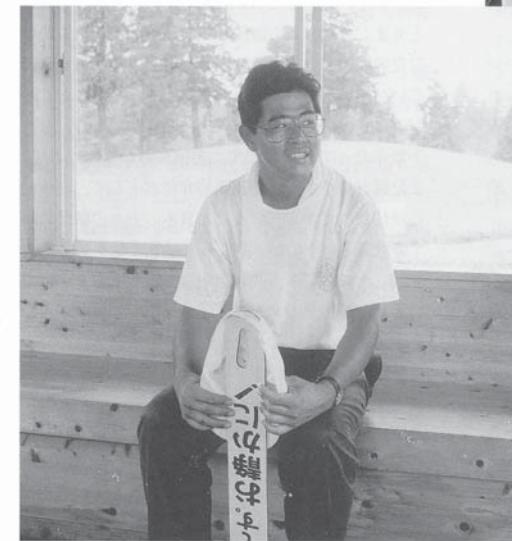
ロープの内側を歩きたい

ここでは、代表して小林暢也、(27歳、鶴舞) 長岡好三 (21歳、習志野) 安田浩二 (26歳、袖ヶ浦) の3君に話をうかがった。

3人ともスポーツマンらしい、さわやかな好青年である。そして、ゴルフの魅力にとりつかれた若者である。顔は陽にやけ、手はゴルフダコ、眼はキラキラと輝いている。

「これまでいろんな競技でキャディをつとめたことはあります。しかし、ギャラリーを整理するのは初めてです。ついで自然と先輩プロのプレーに目が走り、キャップに注意されました。正直のところ、うらやましいですね。そして、なにくそ僕もこの仲間にに入ってやるとふるい立ちました。」(長岡君)

「親父がプロの安田春雄ですので、損してるのかな?」



小林暢也君(鶴舞) “ゴルフに天才はない、ひたすら球を打ち込むだけ”

得しているのかな?自分としては親元を離れ自分のゴルフを作るべく努力しているつもりです」と大きな体に似合わず優しい声(安田君)

「ゴルフに天才はないと思います。ひたすら球を打ち込み努力するだけです」(小林君)

がんばれ研修生諸君、こんど顔を会わせる時はロープの内側の人、選手としてお目にかかるではないか。



長岡好三君(習志野) “いつかはこのボードに僕の名前をのせてみせる”



安田浩二君(袖ヶ浦) “親父は親父、僕は僕自身のゴルフを作るだけ”

チャリティの“花”を日本中に咲かせよう

出席者・加藤匡夫（浜野ゴルフクラブ理事長）
長谷川恵一（UNHCR駐日代表代理）
尾閑秀夫（KGA常務理事・競技委員長）
司会・内田盛雄（KGA常務理事・広報委員長）

内田 KGAでは昨年にひきつづき、全力をあげて国連難民救済募金活動にとりくんでおります。なぜKGAがこのような事を機関決定までして始めたか、そのへんのいきさつは本誌NO.40、NO.42でくわしくレポートしておりますが、そもそもの“仕掛け”が国際感覚の豊かな尾閑さん……（笑）

尾閑 そんなことはありません。確かに言い出したのは私ですが、ここまで大々的に組織をあげての活動に展開、発展したのは加盟俱楽部、ゴルファー、ギャラリーと、そして心ある企業のおかげですよ。

内田 日本人は、けっして利己主義とは言いませんけれども、何か見ななものに対しては助け合いの心があるけれども、遠くなると、ついその心が希薄になると思うのですが。

何か目的があれば動きますけれども、何でもいいから人のために役立とうという気持には素直になれない。そこで今日は、海外生活の経験の長いお二人にそのあたりをいろいろうかがいたいと思います。これから世界の中の日本人としての意識を持ち、感覚を身につける必要がありますから。

■日本人にとってチャリティ、ボランティアって？

加藤 私は日本人に、そういうボランティアの精神がやや欠けているのは、やはりキリスト教文化というものの洗礼を受けていないからじゃないかと思いますか。仏教や神道では、あまり人に恵みを施すとか、自分で進んで何かヘルプするとか、そういうレッスンがありませんように思えるのです。ところが、キリスト教には非常にそれがあるということ。それからもう一つは、何もこういった慈善活動だけでなく、例えば選挙のときも、選挙民がみんな、手



加藤匡夫氏
1916年生 元英国大使、浜野ゴルフクラブ理事長。ゴルフは本場イギリス込み。キャリア54年。ご本人は70歳を過ぎるなどとおっしゃるが周囲の評判は年を感じさせない腕前とのこと。

弁当で応援するわけです。日本みたいに日当をもらって手伝うなんてことは考えられない。

だから選挙費用だって安くすむ。自分たちのために立派に働いてくれている人なんだから、その人を公儀にするためには、みんなで助けて選ぼうというそういう考えなんですよ。

長谷川 私も理事長がおっしゃったことに、全く同意でございまして、やはり一番大きな違いというのは、宗教、この違いが大きいのかなというふうに感じております。

ただ昨年、関東ゴルフ連盟さんから難民問題に協力したいというお話をいただきましたときに、とてもありがたいと思ったわけなんですが、日本の方々にとりましては、この難民問題というのは、はるかあなたの問題というようなとらえ方を、それまでされていたんじゃないかなという気がするんです。ところが実は難民が日本にも上陸いたしましてから、もう十数年たっているのです。実情がわかるにつれて、また緒方貞子さんか難民高等弁務官として、3年前に就任されてから、だんだん日本の方々の難民に対する意識というのが、高まってきております。

尾閑 テレビでも、問題をかなり大きく取り上げていきましたが、そのおかげで随分日本でも民間から募金が集まるようになったとか。

長谷川 数字を挙げますと、一番わかりやすいかと思うんですが、日本の民間からの募金が1990年では、まだ100万ドルそこそこの寄付金でしたが、91年になりますと、1,000万ドルに急増しました。これはKGAさんのような企画、あるいは身近な人が最高責任者になった、我々も協力しなきやいけないというような意識が、出てきたのではないでしょうか。

内田 この気質の違い、僕なんかの正直な実感ですがお金がある、ない、生活に恵まれている、いない、ことが、すぐチャリティ、ボランティア活動にストレートに結びつかないくらいがある。しかし、「貧者の一灯」という言葉があるくらいだから、日本人にだってないわけではない。しかし、何かこう晴れがましいことをするのは、控えたほうがいいという国民性というか、心情がありますね。

加藤 それは、おっしゃるとおりだと思います。日本人は割とシャイですからね。あまり目立って、札ばらをちらつかせるようなことは、あまりしたがらない。アメリカ人は逆に、俗に言うダラーブラック外交というやつです。札ばらで何でも解決しちゃうというようなのが割合が多いですね。

日本には、お金でもって何とかしようというのは、伝統的にあまりいいことではないという精神なんでしょうね。

尾閑 昨年の「関東オープン」は実は入場無料だったのです。そのかわり会場の茨城ゴルフ俱楽部の入口にチャリティボックスを設けまして、入場の際にも幾らでも結構ですから寄金をして下さるようお願いしたのです。

かなりの額が集まつたんですけども、ずっと募金していただいた女性が、どうもお金持ちそうな格好をしている人はほど入れてくれないとおもいます。（笑）

加藤 割と気がつかないようなところに、赤十字の小さな箱なんか置いてあって、釣り銭は、そこに入れるとかね。そういうのが割と、日本人はやりやすいんですね。

ところが、「チャリティ」と正面きって言われると、ちょっと、おずおずしちゃう点がありますね。

尾閑 それと「チャリティ」という言葉に対する、一種のうさん臭さといった感覚が日本人にはかなり強い。チャリティコンサートだ、やれチャリティ何だとよくありますけれども、実はそれは、イベントの経費を出すための募金活動であって、本当はその集まったものの中からごく一部を出しているので



長谷川恵一氏
1941年生 国連難民高等弁務官駐日事務所代表代理。マレイシア・ノルウェー・パバニアユギニア大使館勤務。ゴルフは在ロス・アンジュルス総領事館勤務の際に始める。

はないかと疑ってみたいケースがある。ですから私どもは、とにかくチャリティに寄金していただければ、全額寄付することがとても大切と思っているんです。

内田 何か大会経費を差し引いて、ごくわずかなものしかとどかないといった不明朗な印象を持たれてもしょうがない感じの、チャリティが、けっこう日本にあるのか知れません。

だから、100%、チャリティとして募金箱に入れていただいた浄財は、全部そこへ行くんだということ、これは大事なことかもしれませんね。

尾閑 全くそのとおりだと思います。自分がかかわってみて強く感じました。

■日本、英国、米国ゴルフ事情

内田 この辺で話題をゴルフに対する国民性の違いに変えましょう。日本人のゴルフ観と英国人のゴルフ観、アメリカ人のそれと日本人のそれの違い、その辺いかがでございましょうか。何か違いはありますか。

加藤 いちばんの違いは、日本人は何でもかんでもゴルフに限らず、もうとにかく一生懸命になる、働くのと同じようにやるわけです。コースのロケーションのせいもありますが、朝早く6時ぐらいから起きて、相当な犠牲を払ってプレーする種類のゴルフですね。

英國人にとって、ゴルフというのは、本当に暇の合間にやるものなんです。そんな朝から晩まで1日中ゴルフをするなんていうのは、とんでもないという考え方です。だから、プレーも2人のマッチプレーがほとんどです。土曜日には3人でラウンドすることもある。

たいてい、ツー・サム。12時ぐらいにクラブハウスに来て、白赤のワイン飲み、優雅な時を過ごして、2時くらいから、さあ出かけようかというようなものです。楽しむのを優先する。

内田 そうしますと、日本みたいに、あちこち金網が立っているような練習場風景は見られない。

加藤 大体ゴルフ場にも練習場があるところは少ないのです。日本みたいな“鳥籠”というのですか、

あんなものはほとんどないと言つていい。

内田 どうも日本人はなんにでも“道”をつけたがる。剣道、柔道しかりベースボールまで野球道……、そのうち“ゴルフ道”……。少しでも精進潔斎をして、技術を高めることができることをゴルフに取り組む正しい姿勢みたいな感覚を持っていますよね。

だから練習していないと、さぼると神様に怒られそうな感覚がありますけれども。英国はどうですか。

加藤 とにかく気軽にふらっとクラブを

1本車の中に入れて、よくプレーに出かける。なにしろゴルフ場がたくさんありますからね。戦前、ロンドン市の中心から50マイルの半径に、280のゴルフコースがあったんです。これは日本では考えられない。だからスタートで、30分、1時間待つなんてことはない。

尾閑 プレーする階層というのはどうなんですか。

加藤 昔はやっぱり金持ちクラスといいますか、割合に上層階級が多かったんでしょうけれど、今はもっとポビュラーになってきています。八百屋の親父さんやブルーカラーの人々もやる。それから、ゴルフ場によっては3時ぐらいから、一般の庶民に安い料金で開放することをやっています。

長谷川 どうも、ゴルフが大衆化していったのは、むしろアメリカに入ってからのようですかね。

加藤 そうですね、英國じゃあんまり、ゴルフはPRに熱心でなかった。なにしろ、フットボールとか、ラグビーだとか、ショッちゅう試合があって、それがみんなプール（賭け）の対象となる。労働者なんか自分でやるより、賭けに行くことを楽しんでいる。しかも、八百長できないようなやり方で。日本の相撲なんかは、プールやったら、すぐやくざが入ってきておかしなことになるかな（笑）……。

尾閑 さきほどからお話をうかがっていますと、私はその国の、あるいは国民のストックの問題ではないでしょうか。ストック社会なのか、ストックのない社会なのか、その違いが生活にも遊びにも、もちろん、ゴルフのプレイにも、チャリティにも大きな違いとなって出てくる。

内田 やはり自転車に乗っている日本人と、自動車



尾閑秀夫氏
1935年生 KGA常務理事・競技委員長。関東オープン準備委員長としてチャリティ活動を提唱。自らも熱心にとりこんでいる。武藏カントリークラブ所属。ハンドイキャップ4の腕前。

に乗ってるアメリカ人みたいなもので、自転車はペダルを踏み続けないと倒れちゃいますからね。だから、いつも動いてないといけない。

加藤 チャリティ募金をさらに広げるための、ちょっとした思いつきなんだが、こんなのはどうでしょう。我々仲間同士でプレーすると必ずベットをやりますよね。僕なんかせいぜいナッソーで300円ぐらいだが。あれなんか、何も金を稼ぐのが目的じゃないんだからその半分ぐらい、チャリティボックスに入れておけって、呼びかけたらどうだろう。

内田 それはおもしろい。日本人はチャリティとかボランティアとかのきっかけがつかめて、これをやることはいいことだと自分が思つたらばやるんですよ。わからないものはやらない。

尾閑 去年の関東オープンでこんなことがありました。表彰式で、クリフさん（UNHCR駐日代表）が大変たどたどしい日本語でチャリティの謝辞をのべられた、そのときに、こうやって日本では平和のもとにゴルフしているけど、世界を見渡すとこんな国は非常に少ないんです。というようなことを語りかけたんです。

その話を聞いたアマチュアの選手（小川透氏）、たまたま彼はホールインワンして特別表彰を受けたのですが大感激しまして、記念に難民救済のために寄付させてくださいと申し出ました。すばらしい事でした。

それから、今年の春、関東女子の決勝でまた女子の選手（福澤恵子さん）がホールインワンした。彼女も表彰式のときに、私もホールインワンしたので、寄付したいと申し出てくれた。

そういたしましたら、クラブハウスの中の決勝に出た全選手からどうしてここでチャリティボックスを回さないですか、チャリティをやりましょうという話になりましたね。ジュニアの選手もいるし、学生の選手もたくさんいたのですが、皆さんに寄金していただいた。それが僕はとても嬉しかったんです。

ですから、今おしゃった、ナッソーで勝ったから少し入れましょうとか、あるいはホールインワンをしても日本のゴルフの奇習ともいっていいのです

が、いろいろ記念品を配るけど、その費用をチャリティに回してほしい。（笑）

加藤 保険もあることだし。

尾閑 ところが、寄付はどうも保険の対象にならないようです。（笑）税金の問題もそうですよね。日本では、慈善行為にも規制があってやりにくくしてますね。

内田 本当にいい話ですね。しかしテレビとか新聞雑誌で“難民”という言葉を見聞してもまだ距離感がある。けれど、ゴルファーにはゴルフができる国は少ないんですよと言われると初めて実感できる。このあたりが大事ではないでしょうか。

長谷川 最近はかなり情報を新聞等で取り上げていただいておりますが、まだまだ十分には実態が知られていない。私どもも一生懸命広報に力を入れまして努力しておるんですが、やはりマスコミの方とか、そういう方々にご協力をいただきながら、今後も努力していきたいと思います。

一筋の流れが大河となる

尾閑 やはり日本人というのは平和ボケというか、平和のありがたさ、大切さを身にしみて感じることがなくなった。たとえばユーゴスラビアは第二次大戦後は非常に安定した国でしたね。しかし、つい数年前に冬期オリンピックの会場となったサラエボでは砲弾が飛び交っている。大変平和なすばらしい町が、今はああいう戦火の中にある。だから、人間のつくり出した平穡とか平和なんていかにもろいものかということですね。

私たちは、第二次世界大戦というのを経験するんだけど、今のほとんどの日本の若い人々は、平和がごく当たり前という考え方なんですね。ですから、ユーゴ、カンボジア、アフリカを見ながら、平和を維持していくために何が必要か何をしなければならないかきちんと認識する必要がある。

加藤 難民はホームレス、つまり国を失った人々ですね。考えてみれば、国というのは大変にありがたいものなんです。国が面倒を見てくれるということは大変なことで、それがなくなっちゃうんですからね。難民というのは、だからまことに気の毒な人々



内田盛雄氏
1929年生 KGA常務理事・広報委員長。神奈川県ゴルフ協会理事長としてもアマチュアゴルフ界発展のため活躍している。相模カントリー倶楽部所属。ハンドイキャップ5の腕前。

なんて、日本人の多くがそんな気持ちになつてほしい。

内田 国がなくなって、家がなくなって、食べ物がなくなってという人たちを、やっぱり我々は少なくともゴルフができるような日本人たちは、救援の手をさしのべなければならない。私ども関東ゴルフ連盟がスポーツ界にあっていち早く運動を起こしたもの目的はそこにある。

長谷川 大変ありがたいご支援で、こういう皆様の浄財がソマリア、あるいはユーロースラビアで、カンボジアで苦労して

いる難民の一切のパンになり、また薬になるわけでございます。こういう国民一人ひとりのこういう意識が国の政策を動かす力になりますし、また国際社会の動向をも左右することにつながる。大事な、言ってみれば、草の根の意識とも言いましょうか、そういう意味でも大変ありがたいキャンペーンでございまして、感謝しております。

内田 尾閑委員長、当然このチャリティは続けるわけですが、これから抱負をお話しいただいてしめくくっていただきましょうか。

尾閑 もちろん私たちKGAはアマチュアスポーツ団体ですから競技を主催していくことは当然ですけど、そのほかに、ゴルフを通じて社会貢献、国際貢献しようという考えが細川理事長より活動方針として示され、総会で満場一致で承認されました。

それにもとづいて、去年から始めましたけど、正直なところけっこう大変でして、その原因是チャリティということが、まだ日本で完全に根づいていない、そういう中の活動というのは、まだまだこれは道のりの長いことだと思っています。しかし私どもの活動が、どんな大きな川でも、源流をさかのばれば一筋の流れであるように、我々は今一筋の流れをつくっているんだ、しかしいづれは黄河のような大河の流れになるようなことになれば大変にすばらしい。

それには、私どもだけじゃとてもできないんで、やはりお受けいただく、UNHCRとしても、ぜひ我々のこういう運動というものをバックアップしてほしい、またご後援をいただいている外務省にもお願ひしたいと思います。

ご協力ありがとうございました

—関東オープンチャリティ募金報告—



島津久永・貴子ご夫妻が観戦にご来場 UNHCRの特設テントもご覧いただき、チャリティにもご寄付いただいた

今年も大勢の皆様より淨財が寄せられ、総額
24,118,030円（9月24日現在）となりました。

詳細は別表のとおりですが、千葉県ゴルフ協会から寄せられたものは、「'93' 千葉県民ゴルフフェスタ」に参加された一般ゴルファーからの寄金です。

また、多くの企業にも呼びかけましたが、栗田工業、日立造船さんが心よく応じてくれました。「KGAが、このような運動をやっているのは知らなかった」との声も聞かれましたので、次年はさらに積極的なPRを行う予定です。

もう一つ今年の特徴は、個人からの献金が多くなったことです。前号で「ホールインワンしたらチャリティを」と呼びかけましたところ、別表の皆々様が応じてくれました。なかでも、都筑清彦さん（54歳）は、立科芙蓉（長野県）のメンバーさんで8月8日にホールインワン。たまたま「KGAニュース」を見て、すぐに10万円を連盟に送金いただきました。前号に紹介しましたように、年間16,900回（91年調）のホールインワンが出るそうです。都筑さんの話が関東中に広まり、多くの人から寄金いただければと願っております。



表影式上 中井副理事長（左）より長谷川UNHCR駐日副代表に寄金



千葉県ゴルフ場支配人会々長小松幹司氏（右）より、千葉県と市原市福祉団体への寄金

（平成5年9月24日現在）

（収入）	個別寄付金（敬称略）
（法人）	10,360,000
千葉県ゴルフ協会	3,000,000
埼玉県ゴルフ協会	500,000
市川總業	300,000
栗田工業	2,000,000
日立造船	500,000
栃木県ゴルフ場協議会	1,000,000
水海道ゴルフクラブ（加盟外）	30,000
プロゴルフ協会	3,000,000
吉田企興	30,000
（個人）	920,000
福澤映子	100,000
尾閑秀夫	100,000
新井安寿	100,000
松井 澄	100,000
都筑清彦	100,000
樋沼孝秋（関東オープン優勝者）	400,000
サトウタイプ	20,000
加盟俱楽部寄付金（306クラブ）	12,656,296
浜野ゴルフクラブチャリティBOX	168,383
その他	13,351
合計	¥24,118,030
（支出）	寄付金
UNHCR	18,237,000
千葉県福祉振興基金	2,000,000
市原市社会福祉課	1,000,000

*寄付金額は9月5日（関東オープン最終日）正午現在の募金額にて決定いたしました。

NATIONS UNIES
LE HAUT COMMISSIONNAIRE
POUR LES RÉFUGIÉS



UNITED NATIONS
THE HIGH COMMISSIONER
FOR REFUGEES

Case postale 2500
CH-1211 Genève 2 Dépôt
Suisse

関東ゴルフ連盟
理事長 細川 譲貞様

拝啓 時下ます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、過日は「第44回関東オープンゴルフ選手権」を通じて、昨年に引き続き多額のご寄付を賜り、心からお礼を申し上げます。

このように伝統あるゴルフ競技会が、スポーツを通じて国際社会に貢献する場を開拓されることは、私どもにとって何ものにも変えがたい支えでございます。このような歴史的なご支援は国内における社会意識を高め、さらに世界の難民問題の解決につながるものと確信いたします。

ここに、関東ゴルフ連盟の更なるご発展をお祈りいたしますとともに、今後ともUNHCRの難民支援活動へのご協力をいただけますようお願い申し上げます。末筆ながら、関東オープン実行委員長、尾閑秀夫様はじめ、関係者の皆様に、私どもの心からの感謝の気持ちをお伝えいただければ幸いに存じます。

敬具

平成5年9月22日

国連難民高等弁務官

緒方眞子



UNHCR特設テントと募金に心よく応じるギャラリー



“だれでも、いつでも、どこでも” JGAハンディキャップが取得できるようになります。 ——ハンディキャップ委員会からのお知らせ——

最近、「JGAハンディキャップ」への関心が高まってきております。現在のハンディキャップ査定制度は昭和53年に採用、実施されたものですが、HDCP委員会の永年の啓蒙、促進活動の成果がようやく現れてきたと言えましょう。

これまで、3回にわたり会加盟俱楽部にアンケート調査を行いましたが、実施率は86%の高率となっておりました（詳細は次号に掲載いたします）。委員会としてはさらに充実した内容にすべくさまざまの検討を重ねてきましたが、先ずは「グリーン・システム」の大改造に着手いたしました。御承知かと思いますが、「グリーン・システム」とは、大型コンピュータを駆使して、ハンディキャップを査定するシステムです。現在152俱楽部が加入しておりますが、近い将来は、「だれでも、いつでも、どこでも」ハンディキャップ査定がうけられることを目指し再構築しました。

また、単にハンディキャップ査定だけでなく、多目的に活用できるプログラムも手がけております。

タイムリーな処理が可能となりました。

再構築の一番のポイントは、タイムリーな処理が可能となったことです。

これまで、月末までカードを送ってもらい、翌月20日前後に処理結果をお知らせしていました。

これで、この間に競技がある場合、ハンディ改正ができるないので、同一人が優勝することがまま生じます。これでは他のメンバー、競技者からクレームがつきかねません。ひいては、クラブの“和”的問題ともなります。大幅に改善した結果、必要に応じ、何回でも（いつでも）査定が可能となりまし

た。

委員会として、適正な回数、間隔につきましてはこれから検討いたしますが、採用俱楽部のご意向もお伺いするつもりであります。

それでは、今回の再構築の詳細と、これから可能なさまざまなことを説明いたします。

*

1. 月間3～4回までの受付処理が可能です。
一回目でエラーになった方は、翌月ではなく、同じ月内で受付ができます。従って翌月の競技会に登録が間に合わない等の問題が少なくなります。

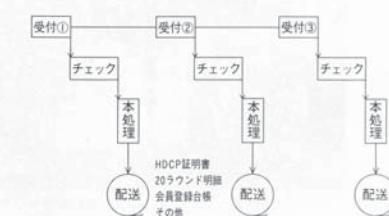
2. リストの配送事故等の対策用に各種の帳票を俱楽部別に再出力することができます。

現在

93年N月



今後 ※処理の回数は今後協議の上決定致します。



3. 計算センター内に端末を置くことで、俱楽部からのお問い合わせに素早く対応することができるようになりました。

次のようなサービスも可能となりました。

① 会員カード

●連盟加盟俱楽部の会員諸氏にきれいにデザインされた専用会員カードを発行します。



●会員コードを覚えておく必要がなくなります。（カードに自動付与される）

●会員カードのダブリ発行がなくなり、手続きが早くなります。

●独自のコードなので機密性が保てます。（手書きによる他人との誤用がなくなる）

●スコアカード等の記入ミスがなくなります。

② 電子メールサービスの新設

各ゴルフ俱楽部に安価な専用パソコン（L/T）を

置くだけで、ハンディキャップ計算はもとより、KGAからのお知らせや計算センターへの問い合わせ、また主催競技の申し込み等、いろいろな目的に合わせて使用することが可能になり、いずれにしても大変スピーディーな対応が即時に実現します。

③ 専用パソコンのその他のサービス機能

●ゴルフ俱楽部概要問い合わせ機能

各ゴルフ場に設置した専用パソコンから、他のゴルフ俱楽部のいろいろな情報を即時にコンピュータの画面で引き出せます。

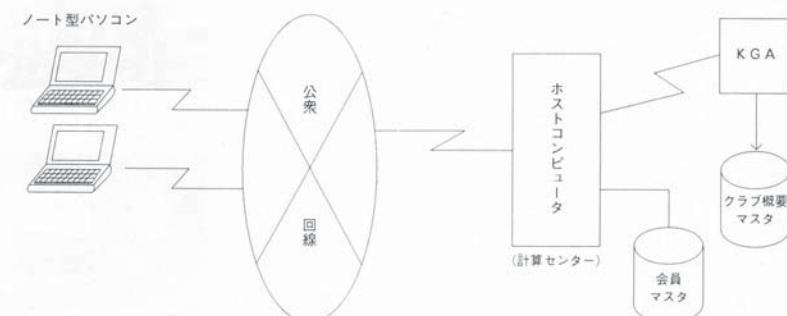
④ Hdcpシミュレーション機能

仮のスコアを専用パソコンに入力することで、ハンディキャップの仮計算が事前に何回でも行えます。

⑤ ハンディキャップ証明書の素材を現在のような葉書型から他のもっと使いやすいものに変えることについて、目下検討中です。

*

このほかにも、様々な事項について検討を加え、優先度の高いものからシステムに組み込んでいくことを計画しております。これを機に、グリーンシステムに加入することをおすすめいたします。詳細、手続き等は事務局にお問い合わせ下さい。また、おとどけしてございます、「ハンディキャップ・リーダー」をご覧下さい。



平成5年度 第14回 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技

●主催 関東ゴルフ連盟 スポーツニッポン新聞社 関東高等学校ゴルフ連盟

●写真 石川博英 (KGA広報委員)

“今のジュニアは、俺よりうまい”
と、世界の青木が感心した。



“ホラ、あんなところまでぶっ飛ばしてきた”と指さす西川哲さんに、青木（中）、松野さん（右）も驚きを隠しきれない表情
(写真提供・スボニチ)

かりの研修生だった。当時は俱楽部所属のキャディを、競技に滞同できたが、松野さんは専ら青木少年を可愛がった。

だから、松野さんは今のジュニアの年頃から青木選手を知っていたことになる。

その青木選手が西川哲選手と連れだって、フライと会場に現われた。西川選手は昭和60、61年の関東ジュニアのチャンピオンである。(日本体院高校2年、3年時、61年は日本ジュニアのチャンピオンもある)。そして、60年に記録した67ストロークは、笹井コースの、コースレコードとして今も破られていない。

その3人が、9番のショートホール(200ヤード)の見渡せるハウス前でゴルフ談議を始めた。

林の中からうまく寄せたジュニアを見て青木さん、「ウーン、うまいなあ、俺よりうまい。俺なんか欲があるから一発入れてやろうと思うからかえって駄目なんだ。この連中は無心でプレーできるからなあ」

西川さん

「僕なんかこの連中と試合したら負けちゃうかな。それにしても、僕の時よりクラブも球も全然よくなってるから、すごい飛距離だね。このショートホール(No.9、200ヤード)僕は何番で打ったかなあ。今は4番、5番? ソーイもんぢや!」

「松野さん、ジュニアのドライバーかはとんどメタルなのに俺は一寸、疑問があるんだ。これだと技術が身につかない。パーシモンと比べてやさしいし球離れが良いから、フック、スライスの微妙な球さばきができなくなる」

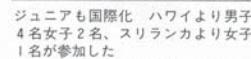
「おお、そうかい。なるほどなあ。そういうテクニックの指導はプロ協の諸君にお願いしてるんだ。私はもっぱら礼儀作法・マナーを教えてるんだ。今の子はお前さんや、西川君と違って、おとなしいのはいいが、覇気に欠ける。君達のようなギラギラした目つき、顔つきのワルガキは少なくなった。あの時代が懐かしいよ。けれど年々良くなっているよ。君達に負けない立派なゴルファーに育ちつつある」

ホールアウトしたジュニアたちは、すぐ2人に気がついて、“あれ、青木と西川だ”と小声でさやきながら、憧れの

眼差して見つめる。サインを求めるジュニアにも快く応じていた。自分のつたないプレーが日本を代表するプロに見つめられていかにこしき、ジッ

ニアにとっていい思い出、経験になつたにちがない。

2人は4時すぎまで熱心に観戦していた。



平成5年度 第14回 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

開催コース・武藏カントリークラブ・笹井コース

高校男子・8月4日5日 36ホールストロークプレー 6,641ヤード パー7

中学男子・8月5日 18ホールストロークプレー 6,641ヤード パー7

女 子・8月5日 18ホールストロークプレー 5,992ヤード パー7

〈中学男子の部

高校男子の部							高校女子の部						
順位	氏名	学校名/学年	1R	2R	合計	順位	氏名	学校名/学年	OUT	IN	合計		
1	瀬 芹 尚人	千葉県大一(3)	74	73	147	1	今 井 秀 和	春日野中(3)	35	40	75		
2	辻 村 明 志	学館浦安(3)	77	71	148	2	水 村 寧 一郎	柄木西中(3)	41	36	77		
3	模 本 楠 美 水 城	(2)	76	72	148	3	市 原 建 雄	丸山台中(3)	39	40	79		
4	小 林 正 则	学館浦安(3)	77	72	149	4	大 野 裕 二	芦塚第一中(2)	37	44	81		
5	佐 藤 桂	日体荏原(3)	73	76	149	5	桜 井 力 剛	越智中(3)	39	42	81		
6	カ ラニ・キ アイナ	イオラニ高(2)	72	77	149	6	小 金 朋 一	新町中(3)	41	40	81		
7	吉 藤 利 安	学館浦安(2)	78	72	150	7	金 子 朋 弘	佐野大中(3)	41	41	82		
8	今 井 秀 和 (春日野中3年)					8	秋 元 一 男	日 男 中(3)	42	40	82		
9	深 沢 尚 人 (千葉県大高3年)					9	吉 田 信 一	常磐船中(4)	40	43	83		
10	吉 田 裕 一 (日大三高)					10	高 旗 衍 征	大須ヶ丘中(3)	42	42	84		
11	東 健 塔 (埼玉県)					11	川 波 駿	明大寺野中(3)	43	41	84		
12	望 月 泽 と 星 陵 (星陵)					12	染 谷 英 明	東金子中(3)	44	40	84		
13	佐 藤 友 介 (基 大中野)					13	海 江 田 太 郎	猿島原中(3)	42	43	85		
14	吉 田 伸 一 (日大三高)					14	日 本 阪 隆	芦田中(2)	41	45	86		
15	東 健 塔 (埼玉県)					15	守 屋 崎 则	厚木中(3)	45	42	87		
16	望 月 泽 と 星 陵 (星陵)					16	尚 宇 朝 則	桑中(2)	43	46	89		
17	佐 藤 友 介 (基 大中野)					17	佐 久 間 章 生	小松中(3)	48	41	89		
18	吉 田 伸 一 (日大三高)					18	吉 田 道 人	城南中(3)	48	41	89		
19	東 健 塔 (埼玉県)					19	太 田 真 道	己 国分寺台中(2)	46	44	90		
20	本 島 瑞 み (東中)					20	本 島 瑞 み	己 国分寺台中(3)	52	44	96		
21	松 本 成 生 (手広中)					21	松 本 成 生	手広中(3)	44	53	97		
22	烟 和 樹 (本町中)					22	烟 和 樹	本町中(3)	53	51	104		

〈高校男子の部〉

理事会・委員会

平成5年度第3回コース・レート委員会議事録

日 時 平成5年7月16日（金）正午
場 所 KGA 会議室
出席者 新井委員長、北村副委員長
前川、松岡、中川、岡田、大久保、佐久間、
吉田各委員

—討事及び決議事項—

1.ザ・フォレストカントリークラブ以下5俱楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次期のように決定した。

(1) ザ・フォレストカントリークラブ

天竜・橋	
ペントグリーン	バック・ティ 70.8
	レギュラー・ティ 68.7
天竜・一宮	
ペントグリーン	バック・ティ 70.6
	レギュラー・ティ 68.6
コーライグリーン	バック・ティ 70.6
	レギュラー・ティ 68.7
橋・一宮	
ペントグリーン	バック・ティ 70.6
	レギュラー・ティ 68.7
コーライグリーン	バック・ティ 70.4
	レギュラー・ティ 68.4

(2) 柿木ヶ丘ゴルフ俱楽部

ペントグリーン	バック・ティ 72.5
	レギュラー・ティ 70.1
コーライグリーン	バック・ティ 71.2
	レギュラー・ティ 69.1
	フロント・ティ 67.2

(3) 桜ヶ丘カントリークラブ

ペントグリーン	バック・ティ 71.4
	レギュラー・ティ 70.0
	フロント・ティ 68.6
コーライグリーン	バック・ティ 70.0
	レギュラー・ティ 68.9
	フロント・ティ 67.5

(4) サンフィールドゴルフクラブ

ペントグリーン	バック・ティ 70.0
	レギュラー・ティ 68.7
	フロント・ティ 67.2

(5) 緑野カントリークラブ

ペントグリーン	バック・ティ 72.0
	レギュラー・ティ 70.0

フロント・ティ 68.0
2.7月16日現在申請中の若洲ゴルフレインクス以下5俱楽部について、査定日を以下のように決定した。

若洲ゴルフレインクス 8月3日（火）

笛神五頭ゴルフ俱楽部 9月13日（月）

鷹彦スリーカントリー 11月4日（木）

桂ヶ丘カントリークラブ 11月5日（金）

メイフラワーゴルフクラブ 11月9日（火）

3.湯田上カントリークラブ以下3俱楽部より質問状について、以下のように回答することとした。

湯田カントリークラブ 再査定（査定日は後日決定）

南総カントリークラブ 再査定（11月29日）

東松苑ゴルフ俱楽部 福田願間に一任

平成5年度第4回コース・レート委員会議事録

日 時 平成5年8月10日（火）正午
場 所 KGA 会議室
出席者 新井委員長、北村、諸戸副委員長
市川、前川、松岡、内藤、中川、岡田各委員、
福田願間

—討事及び決議事項—

1.プレステージカントリークラブ以下4俱楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次期のように決定した。

(1) プレステージカントリークラブ

東コース	
ペントグリーン	バック・ティ 72.5
	レギュラー・ティ 68.6
	フロント・ティ 66.5

西コース

ペントグリーン	バック・ティ 73.2
	レギュラー・ティ 69.6
	フロント・ティ 67.4

(2) サンヒルズカントリークラブ

イーストコース	
ペントグリーン	バック・ティ 71.4
	レギュラー・ティ 69.8
	フロント・ティ 68.7

ウェイトコース（仮レート）

ペントグリーン	バック・ティ 72.1
	レギュラー・ティ 69.5
	フロント・ティ 67.6

(3) 伊豆にらやまカントリークラブ

東・中	
ペントグリーン	バック・ティ 71.6

理事会・委員会

平成5年度第3回コース・レート委員会議事録

レギュラー・ティ 69.8

フロント・ティ 68.4

東・西

ペントグリーン バック・ティ 71.6

レギュラー・ティ 69.2

フロント・ティ 67.6

中・西

ペントグリーン バック・ティ 71.2

レギュラー・ティ 69.4

フロント・ティ 68.0

(4) 若洲ゴルフレインクス

ティフトングリーン バック・ティ 72.0

レギュラー・ティ 69.7

フロント・ティ 67.4

3.8月10日現在申請中のザ・オーシャンゴルフクラブ以下3俱楽部について、査定日を以下のように決定した。

ザ・オーシャンゴルフクラブ 8月31日（火）

アルパインカントリー・ゴルフクラブ 10月4日（月）

URAKUゴルフクラブ GOTEMBA 9月21日（火）

4.「JGAコースレイト難易度査定10点法」について

福田願間より、「JGAコースレイト難易度査定10点法」について説明がなされた。各委員活発な意見交換のち、新井委員長より次記の提案がなされこれを承認した。

「KGAとしてこれから査定を行う俱楽部については、従来の「5点法」と「10点法」両方で難度を査定し、その結果をJGA全国合同コースレイト査定委員会にて報告することとした。」

平成5年度第2回例競技委員会議事録

日 時 6月11日（金）12時30分

場 所 KGA会議室

出席者 斎藤委員長、山崎副委員長

平山、市川、小久保、小池、松井

岡田、岡野、桜井、嶋田各委員

学生連盟委員

—討議及び決議事項—

エントリー数他は以下のとおり。

開催日 平成5年6月4日（金）

コース 篠波カントリークラブ

エントリー 160名（男子96名、女子64名）

欠席者 事前連絡 13名（男子8名、女子5名）

当日連絡 3名（男子2名、女子1名）

無断欠席 0名

出場者数 144名（男子86名、女子58名）

科間者 0名

ミーティング欠席 0名

失格者 1名

棄権者 0名

2.6・7月例出場資格者報告の件

6月例出場資格者報告

男子598名（-5名）、女子180名（-18名）

7月例出場資格者確認

男子601名（+3名）、女子165名（-15名）

3.7月のテーマ

○ティ・グラウンド前方を横切らない。

○ポールマークの修復の徹底

4次回プレーオフについて

女子の部で、市川慶子選手と渡辺恵子選手が75ストロークで1位タイの為、次回、プレーオフで優勝を決定する事を確認した。

平成5年度第3回例競技委員会議事録

日 時 平成5年7月23日（金）12時30分

場 所 KGA会議室

出席者 斎藤委員長、山崎副委員長

平山、市川、小久保、小池、松井

岡田、岡野、桜井、嶋田各委員

学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1.7月度競技報告及び総括

川島副委員長、欠席の為、代わって桜井委員より下記の報告及び総括がなされた。

梅雨の合間の好天で絶好のゴルフ日和であったが、昨夜來の大暴雨による陥没で電動カートの配線が切断され、アウトコースが使用不能になり、スタートに手間どり、全体的に遅れてしまった。その為、男子最終組は、6時8分に終了、ミーティングは6時45分に終了した。スコアは、グリーン及びグリーン回りの難しさの為か、全体的に低調であった。

尚、8月の市川慶子選手と渡辺恵子選手によるプレーオフは市川選手80、渡辺選手81で市川選手の優勝が

理事会・委員会

決まった。

エントリー数他は以下の通り
開催日 平成5年7月6日(火)
コース カレドニアン・ゴルフクラブ
エントリー 178名(男子124名、女子54名)
欠席者 事前連絡 5名(男子1名、女子4名)
当日連絡 2名(男子1名、女子1名)
無断欠席 1名(男子1名)
出場者数 170名(男子121名、女子49名)
料金者 4名
ミーティング欠席 1名
失格者 2名
棄権者 1名

2.8月例出場資格者報告の件

8月例出場資格者確認
男子560名(-40名) 女子140名(-25名)

3.8月のテーマ

○ティ・グラウンドの前方を横切らない。
○ポールマークの修復の徹底

4.無断欠席者について

今回、無断欠席者が1名出たが、規定通り、7回出場停止処分と、所属俱楽部理事長あてに警告書を出す事を確認した。

5.その他

8月度の開催日は8月27日(金)で関東オープンの前週となる。そのため、開催コースの浜野ゴルフクラブはラフを立たせてあり、コースセッティングが難しくなっていることから、女子のティーマークはできるだけ前方にする事を確認した。

また、最終組の後に、関東オープンの最終チェックの為、競技委員がつくことも合わせて確認した。

平成5年度第4回月例競技委員会議事録

日 時 平成5年8月30日(月) 12時30分
場 所 KGA会議室
出席者 斎藤委員長、山崎副委員長、市川、小池、松井、岡野、桜井、嶋田各委員

—討議及び決議事項—

1.8月度競技報告

台風11号の影響によるコースコンディション不良の為、競技当日午前7時の競技委員会での中止が決定された。そのため9月例競技参加資格、欠席者の扱い、参加料の問題、8月度月例競技まで参加資格を喪失していた選手の扱い、等の諸問題について中止審議を行

った。

開催日 平成5年8月27日(金)
コース 浜野ゴルフクラブ
エントリー 118名(男子81名、女子37名)
欠席者数 事前連絡10名(男子8名、女子2名)

○欠席者の扱いについて

事前欠席を連絡してきた10名の選手はあらかじめ次回1回出場停止のペナルティが科せられる事を承知の上で欠席を申し出ているので、規定通りの扱いとする。尚、当日、クラブに来ない選手もいたが、台風の影響による交通事情を考慮しペナルティは科さない事とした。

○参加料について

事前連絡の欠席者10名だけは参加料を徴収したらどうかとの意見もあったが、競技を中止したことでもあり、8月度は参加料は徴収しないことと決定した。

○8月まで参加資格を喪失していた選手について

6月度の2回出場停止、7月度の1回出場停止の選手の扱いについて、それぞれ月数で数えるならば、参加資格の喪失は、今月までであり、来月は出場できることになる。今回は台風による中止の為、月数で数えて来月から出場を認めてはとの意見もあったが、参加規定には回数をもって定めており、規定にしたがうことにした。従って9月度の参加資格喪失者は

1. 6月度の2回出場停止
2. 7月度の1回出場停止
3. 7月度の2回出場停止
4. 今回の事前連絡の欠席者

である事を確認した。

2.9月のテーマ

○ティ・グラウンドの前方を横切らない。
○ポール・マークの修復の徹底

3.9月度特別注意事項

9月開催俱楽部の霞ヶ関カンツリー倶楽部では、キヤディパック重量制限(11kg以内)を行なっており、選手にスタート表発送時に注意を喚起することとした。

平成5年度第5回月例競技委員会議事録

日 時 平成5年9月24日(金) 12時30分

場 所 KGA会議室

出席者 山崎委員長、川島副委員長、平山、市川、小池、松井、本吉、桜井、各委員、学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1.9月度競技報告及び総括

理事会・委員会

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。フェアウェイはまづまづの状態であったが、グリーンがあまり良くない状態だった。それでも好天に恵まれ、3時50分に競技を終了することができた。スコアもトップは男子70、女子73と立派であり、特に女子のレベルアップが目立った。またキヤディパックの重量制限についても、前年の28名から、9名(男子8名、女子1名)と非常に少なくなった。エントリー数は以下の通り

開催日 平成5年9月17日(金)

コース 霞ヶ関カンツリー倶楽部(東コース)

エントリー 158名(男子95名、女子63名)

欠席者 事前連絡 7名(男子5名、女子2名)

当日連絡 0名

無断欠席 1名(男子1名)

出場者数 150名(男子89名、女子61名)

科罰者 3名

ミーティング欠席 0名

失格者 0名

棄権者 0名

2.10月例出場資格者報告の件

10月度出場者確認

男子569名(+9名) 女子170名(+30名)

3.10月のテーマ

- ティ・グラウンドの前方を横切らない。
- ポール・マークの修復の徹底

平成6年度 関東ゴルフ連盟競技日程表

月	日	曜	競技名	開催コース
4 25 月	25	月	第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック	甲斐駒 大平台 富士宮
	25	月	関東女子選手権予選	
	25	月		
5 9 月	9	月	関東グランドシニア選手権	蘆之台
5 9 月	13	月	第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック	小金井 ロイヤルオーク レインボーパー
	13	月		
	13	月	関東アマチュア選手権予選	
	13	月	第4ブロック	芳賀
	13	月	第5ブロック	フォーシーズン
5 16 月	16	月	第6ブロック	立科美喜
	17	火	関東女子選手権決勝	ガーデン
6 13 月	23	月	東京地区	八王子
	23	月	埼玉地区	狭山
	23	月	千葉第1地区	ザ・鹿野山
	23	月	第2地区	上総富士
	23	月	神奈川地区	大相模
	27	金	茨城第1地区	ザ・レイクス
	24	火	関東俱楽部対抗予選	新水戸
	24	火	栃木第1地区	ユエーアイ
	23	月	第2地区	思いの川東急
	26	木	群馬地区	伊香保国際
7 25 月	24	火	静岡地区	藤枝
	27	金	長野地区	グランステージ
	24	火	山梨地区	昇仙峡
	24	火	新潟地区	新潟SP・出雲崎
	5 9 10 月	金		

平成5年9月30日現在 *一部変更になる場合があります。

平成6年度 関東ゴルフ連盟月例競技日程表

月	開催日	申込締切(2週間前)	開催コース
7 7 月	7月4日(月)	6月20日(月)	カレドニアン
8 8 月	8月26日(金)	8月13日(金)	緑野
9 9 月	9月16日(金)	9月2日(金)	霞ヶ関
10 10 月	10月18日(火)	10月4日(火)	龍ヶ関
11 11 月	11月14日(月)	10月31日(月)	日高
12 12 月	12月2日(金)	11月18日(金)	茨城

月例競技成績表

(平成5年度7月月例) 7月6日(祝) カレドニアン・ゴルフクラブ

(男子)		順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	阪田 哲男	袖ヶ浦	37 34	71		
2	室野 歩	新千葉	38 34	72		
2	和田 博	東京五日市	39 33	72		
4	高安 信行	セントラル	37 37	74		
4	小川 透	岡部チサン	38 36	74		
4	石井 幹	千種スプリングス	38 36	74		

コースレート73.0

(女子)		順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	山本 智美	鹿沼	72	41 38	79	
2	市川 慶子	江戸崎	42 38	80		
3	三木恵美子	富士	42 39	81		

コースレート70.0

(平成5年度8月月例) 8月27日(金) 浜野ゴルフクラブ

●台風の影響によるコースコンディション不良の為、中止

(平成5年度9月月例) 9月17日(金) 霞ヶ間カンツリー倶楽部(東コース)

(男子)		順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	阪田 哲男	袖ヶ浦	35 35	70		
2	太田 再勇	大相模	34 38	72		
3	朝原光太郎	美野原	37 36	73		
3	高安 信行	セントラル	36 37	73		
3	和田 雅英	東京五日市	35 38	73		
3	原 繁雄	相模原	37 36	73		

コースレート73.1

(女子)		順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	有藤 智香	日本大学	36 37	73		
2	渡辺 恵子	高根	39 36	75		
3	菊地あつ子	白帆	41 36	77		

コースレート71.0

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は、次記の通りです。訂正加筆をお願いいたします。

理事長

- ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン
(新) 大岩 俊雄 (旧) 水沢 郁夫
- 広陵カントリークラブ
(新) 山田 照夫 (旧) 大木 恒四郎
- 木更津ゴルフクラブ
(新) 鶴田 卓彦 (旧) 新井 明
- カントリークラブ・ザ・ウイングス
(正) 神崎 安太郎 (誤) 神崎 要太郎
- 龍ヶ崎カントリー倶楽部
(新) 砂金 俊夫 (旧) 金尾 實
- 相模湖カントリークラブ
(新) 国分 勘兵衛 (旧) 江守 堅太郎
(代) 伊藤

倶楽部代表者

- ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン
(新) 大岩 俊雄 (旧) 水沢 郁夫
- 高麗川カントリークラブ
(新) 神尾 昌一
- 広陵カントリークラブ
(新) 山田 照夫 (旧) 大木 恒四郎
- 木更津ゴルフクラブ
(新) 鶴田 卓彦 (旧) 新井 明
- 相模野カントリー倶楽部
(新) 山村 博文 (旧) 細川 定信

- 相模湖カントリークラブ
(新) 国分 勘兵衛 (旧) 江守 堅太郎

支配人

- 飯能ゴルフクラブ
(新) 島田 圭二 (旧) 海保 義一
- 東千葉カントリー倶楽部
(新) 池田 進 (旧) 浅田 幹雄
- 塩原カントリークラブ
(新) 高橋 良一 (旧) 狐塚 敏雄
- 加茂ゴルフ倶楽部
(新) 栗原 輿宏 (旧) 銀ヶ谷 幸雄

所在地

- 府中カントリークラブ
〒206 多摩市中沢1-41-1 (町名地番変更)

東京事務所

- 箱根カントリー倶楽部
東京事務所閉鎖
- 岩瀬桜川カントリークラブ
(新) 〒168 杉並区宮前1-19-3
- ミオス菊川カントリークラブ
(新) 〒101 千代田区外神田5-1-2 来広ビル6F
TEL: 03-3839-2301 FAX: 03-3839-2575

H D C P

- 太田双葉カントリークラブ ▲→◎
- 緑野カントリークラブ ▲→●

平成5年10月1日発行 KGAニュース No.44

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391
発行人/細川護貞 編集/広報委員会